

日本退職者連合第22回定期総会

人見会長あいさつ

全国から結集された代議員、傍聴者、関係者の皆さん、おはようございます。開会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

最初に、昨年の総会以降、仲間の会員が亡くなりました。ここで物故者の皆様のご冥福を祈り、黙祷を捧げたいと思います。皆様のご協力をお願いいたします。

本日は、大変お忙しい中、本総会成功のために、多くのご来賓の方々にご臨席頂いております。後ほど来賓の皆様から、ご挨拶を頂きますが、私からご来賓の皆様のご紹介をさせていただきます。

連合本部から相原事務局長、立憲民主党から長妻昭代表代行、国民民主党から玉木雄一郎共同代表、社会民主党から又市征治党首、中央労福協から花井圭子事務局長、労金協会から高橋精一専務理事、全労済から宇田川浩一常務執行役員にご臨席頂いております。皆さんの拍手でお礼にかえたいと思います。ありがとうございます。

さて、先週九州、四国、中国、近畿地方において、過去に類を見ない大雨、集中豪雨による大きな被害が発生し、大惨事となってしまいました。また大阪では、大きな地震で、被害も甚大です。昨年は九州北部豪雨による被害、2年前には熊本における地震被害、7年前に東日本大震災と福島原発事故での被害、被害があった現地では、未だに生活再建ができずに、避難所での生活を余儀なくされている被災者が多くおります。

被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復旧・復興により生活再建できるよう、支援を強化していきます。政府にも一日も早く復旧、復興を進めるよう求めています。

さて、現在、国会開催中です。

後ほど、ご来賓の皆様から詳しくお話があると思いますが、私からも政治状況について、一言触れたいと思います。安倍政権は、森友・加計問題での真相については、頬かむりをして、嘘と忖度と記憶喪失の繰り返しで、国民と国会を愚弄し、無責任な対応でやり過そうとしています。しかし、安倍首相の国会答弁について、国民の多くは納得していません。一連の疑惑を徹底的に解明し、安倍内閣の政治責任を、追及していくことが重要です。

又、財務省事務次官のセクハラ行為に対し、麻生副総理・財務大臣は、人権無視の対応で次官を擁護し、多くの国民から批判を受けました。

一方、働き方改革関連法案では、私たちの反対を押し切って、数に物を言わせて強行採決、高度プロフェッショナル制度を導入し、過労死の予備軍を多数創りだそうとしています。現在、審議中のカジノ実施法案でも、賭博を解禁することに国民の多くが反対しているにも関わらず、今国会で強行可決しようとしています。国民のための政治とは言えず、決して認めるわけにはいきません。安倍首相への信頼は揺らいでいます。嘘をつく首相という評価が定着しつつあります。このような安倍政治に鉄槌を下す好機がやってきます。

来年は、統一地方選挙と参議院議員選挙が実施されます。退職者連合第22回総会のスローガンは「統一地方選挙、参議院選挙を勝ち抜き、経済優先の政治から、生活優先の政治に変え、生き生きと安心して暮らせる社会にしよう」です。

日本退職者連合は、連合本部が推薦する全ての候補者の必勝を目指して、現退一致の闘いを進めます。政治の流れを変えるために、全力で闘います。

日本は、世界に類を見ないスピードで、人口減少、超高齢社会が到来します。持続可能な社会保障制度の確立が急務です。2040年頃には、現在より2000万人人口が減り、高齢化はピークに達します。社会保障給付費は、190兆円になると推計されています。

どのように状況が変化しようとも、私たち高齢者には生活があります。年金、医療、介護の各制度は高齢者・国民の生活を守るものでなければなりません。

そのためには、必要な財源を確保し、制度を改革していかなければなりません。自己責任の社会ではなく、支え合いの社会へ制度を変えていくことが必要です。今総会には、2018年政策制度要求（案）を提案しています。この政策制度要求を実現するため、中央・地方において全力で取り組んで参る所存です。

日本退職者連合は、当面100万退職者連合を目指して、組織の強化・拡大に取り組んでいます。今年の組織実態調査では、2万8000人の拡大を勝ち取りましたが、この2年間、産別関連退連、地方退連、合わせて5万人減少し、78万人弱となりました。高齢者組織という性格上からくる自然減もありますが、地方組織では「世話をする人がいなくなった」との理由で、解散する組織もあると報告されています。

今総会以降、地方退連9ブロックより幹事が選出されます。地方代表が幹事会に参画することにより、退職者連合の活動が一層強化されるものと確信しま

す。組織全体で工夫をこらし、100万退職者連合の早期実現に向けて取り組んでいく決意です。

退職者連合は、全国各地で活動しています。行動する退職者連合として、更に元気に活動していきましょう。そのためにも健康第一で、この1年活動することを訴えて、私のあいさつと致します。